長久手町文化の家
NAGAKUTE Cultural Center

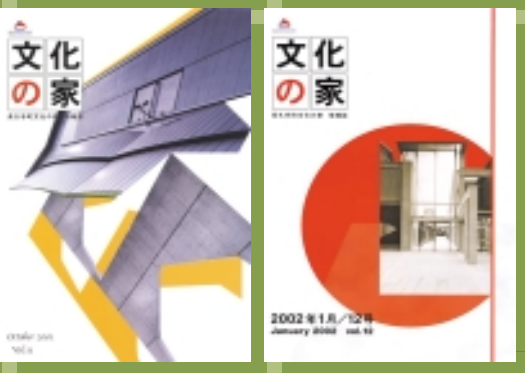
五年間を振り返る。

1999

2000

2001

2002



2003

長久手町文化の家　情報誌

文化の家

NAGAKUTE
Cultural
Center
Informational
magazine

AUTUMN 2003
vol.18

長久手町文化の家情報誌
文化の家
AUTUMN 2003 Vol.18

CONTENTS

○ STRUCTURE／施設点描 2
印象的なシルエットのホール外観

○ IMPRESSION 3
能祖 将夫／月猫えほん音楽会

○ 特集 4
長久手町文化の家開館５周年

○ TOPICS 8

○ INFORMATION 10
公演Pick Up

○ OTHERS 11
文化の家を一度使ってみませんか？/編集後記

○ 文化の家美術作品 裏表紙

この情報誌では文化の家が行う事業や文化の家で展開されるさまざまな活動を紹介するとともに町の芸術文化情報をお知らせします。

STRUCTURE 施設点描

印象的なシルエットのホール外観

一般的にホールの外観は舞台部に高い大きなボリュームがあります。これは、緞帳（どんちょう）や各種の幕類、バトン類を上げ下げするために必要な高さを確保するためです。文化の家では、周辺環境に配慮し、この部分の高さをできるだけおさえて圧迫感をなくし、屋根の一部のように見えるように工夫しています。しかし、この部分は、文化の家を遠くから見たときに印象を作る大切な部分でもあるので、空とのエッジになる屋根の頂部に金属の櫛形飾りをつけ、印象的なシルエットを作り出しています。それをライトアップすることにより、広告塔のない文化の家の夜のアイキャッチにもなるようにしています。

―月猫えほん音楽会―

能祖　将夫

8月7日に文化の家　森のホールでの「月猫えほん音楽会」公演終了後、同公演の企画・構成を担当し、読み猫役を演じられた能祖将夫さんにインタビューしました。

≪プロフィール≫
能祖 将夫（のうそ まさお）
1958年 愛媛県新居浜市生まれ
劇団四季を経て、85年から01年まで東京・渋谷にある「こどもの城」青山劇場、青山円形劇場のプロデューサーとして数多くの演劇作品、音楽作品を手がける。
現在は、北九州芸術劇場プロデューサーおよび四季文化館（茨城県美野里町）芸術監督、桜美林大学非常勤講師などを勤める。

―文化の家で公演を行った感想をお願いいたします。

とても良い雰囲気でした。
建物の外観からも、おうち（家）という印象を感じることができ、アットホームな雰囲気がしました。そして今日は“ネコの家”として演じることができました。

―会場に来た子どもたちの様子はいかがでしたか？

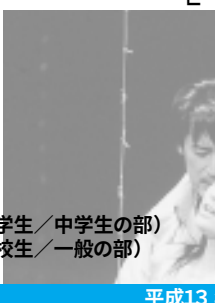
元気良く見てくれました。
公演途中で、会場の子どもから3つの言葉を挙げてもらい、その言葉を盛り込んだ即興の物語を作るコーナーがあったのですが、意外な言葉が出てくるなど面白くできました。
他にも、会場に来ている3人の子どもたちも参加者となって舞台に上がってもらったのですが、みんなセンス良く演じることができました。また、お父さんお母さんもニコニコとして温かい雰囲気でした。

―今日会場に来た子どもたちに一言お願いいたします。

元気をずっともっていてね。
センスをどんどん磨いてね。
ワンパクさもずっと持っていてね。
今日の月猫えほん音楽会をおとなになってもずっとずっと覚えておいてください。
そして、たまには絵本を読んでもらってね。

特集
Special edition

長久手町文化の家 開館５周年



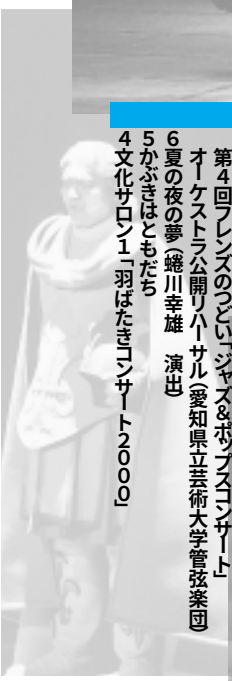
平成10

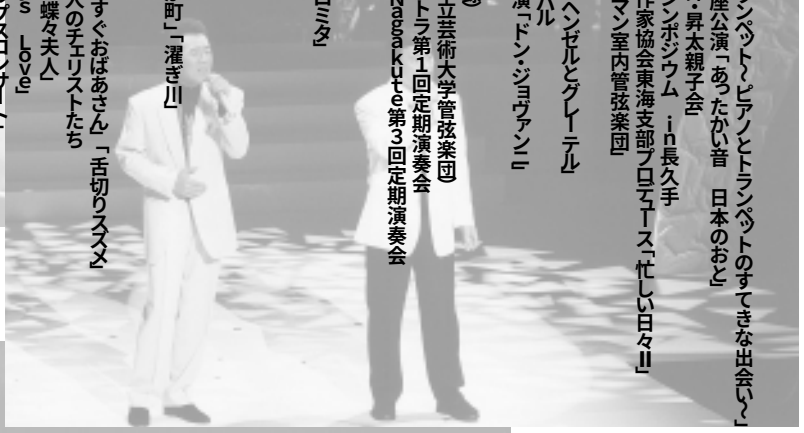
平成10年度文化庁移動芸術祭巡回公演　ミュージカル小劇場「見果てぬ夢」
第1回文化サロンコンサート「トリオのタベ」
10平成10年度文化庁移動芸術祭巡回公演「モダンダンス公演」
国際親善コンサート「原荘介＆ニコ・ヴァンクーバー　デュオ」
9　町劇団座★NAGAKUTE「彦市ばなし」「おんによろ盛衰記」
兵庫県立ピッコロ劇団「さらっていってよピーターパン」
劇座「決定版　力道山」
第1回長久手町地域演劇祭
レネゲイズ・スティールドラム・オーケストラコンサート
8長久手音頭制定20年記念「島倉千代子コンサート」
開館祝賀　「町の若き音楽家たち―華麗なる羽ばたきコンサート」
開館祝賀　「愛知県立芸術大学オーケストラコンサート」
開館祝賀　「ピアノ開き―佐々木行利子＆伊藤昌司ピアノコンサート」
開館祝賀コンサート　「大下久見子＆セントラル愛知交響楽団コンサート」
7開館祝賀　こけら落とし公演「三番叟」

●企画展
絵画コンクール（小学生／中学生の部）
絵画コンクール（高校生／一般の部）

平成12年度自主事業

第8回オペラレクチャー・コンサート「ドン・ジョヴァンニ」
3第5回フレンズのつどい「魅惑のフラメンコ」
アートリビング講座発表会
室内楽の楽しみ2
第3回事業倶楽部事業「究極のトランペット～ピアノとトランペットのすてきな出会い～」
愛知県アートマネージメント実践講座公演「あったかい音　日本のおと」
2初笑い　ながくて寄席「春風亭柳昇・昇太親子会」
長久手演劇王国Vol.3　劇作家シンポジウム　in長久手
長久手演劇王国Vol.3　日本劇作家協会東海支部プロデュース「忙しい日々Ⅱ」
ニューイヤーコンサート2001「テレマン室内管弦楽団」
1室内楽の楽しみ1
第7回オペラレクチャー・コンサート「ヘンゼルとグレーテル」
第2回長久手町文化の家フェスティバル
愛知県立芸術大学大学院オペラ公演「ドン・ジョヴァンニ」
12クラシック・バレエ「くるみ割り人形」
演歌2001（CBCテレビ番組収録）
11オーケストラ公開リハーサル（愛知県立芸術大学管弦楽団）
愛知県立芸術大学ウィンドオーケストラ第1回定期演奏会
10町合唱団「ニューセンチュリーコーラスNagakute第3回定期演奏会
文化サロン3「ファミリーコンサート」
第1回長久手オペラ声楽コンクール
あいち国際女性映画祭2000「パロミタ」
少年王者館「自由ノ人形」
劇団ぶどう座「うたよみざる」
9　劇団ホチキス「宇宙な男2000」
劇団米噛調査「幸の部屋」
劇団Beans「天使は瞳を閉じて」
町劇団座★NAGAKUTE「わが町」「濯ぎ川」
8第3回長久手町地域演劇祭
文化サロン2「ガムラン・マルガ・サリ」
長久手町こども劇場「太郎君とまつすぐおばあさん」「舌切りスズメ」
7開館2周年記念　ベルリンフィル12人のチェリストたち
第6回オペラレクチャー・コンサート「蝶々夫人」
劇団扉座「いとしの儚　100Days　Love」
第4回フレンズのつどい「ジャズ＆ポップスコンサート」
オーケストラ公開リハーサル（愛知県立芸術大学管弦楽団）
6夏の夜の夢（蜷川幸雄　演出）
5かぶきはともだち
4文化サロン1「羽ばたきコンサート2000」

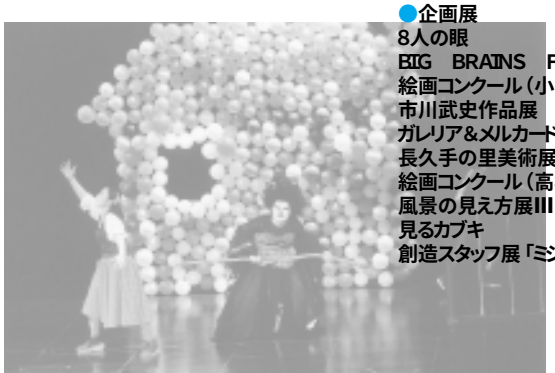




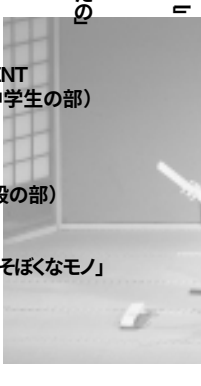
●企画展
森北伸展“窓の向こうはすべてウソ”
川上越子　絵本原画展
絵画コンクール（小学生／中学生の部）
高橋伸行展
風景の見え方展Ⅱ－現代作家による具象・抽象・心象－
絵画コンクール（高校生／一般の部）

平成13

第9回オペラレクチャー・ガラコンサート「カルメン」「蝶々夫人」「こうもり」「ドン・ジョヴァンニ」
第5回事業倶楽部事業　扉座「フォーティンプラス」
関連企画・バックステージツアー、子ども演劇ワークショップ
兵庫県立ピッコロ劇団「選ばなかった冒険―光の石の伝説―」
愛知県立大学人形劇サークルとびねこ「うさぎどんときつねどん」「ニコラスどこにいってたの」
演劇人冒険舎「南の丘の大きな切かぶ」
町劇団座★NAGAKUTE「ランプルペンと小さな魔女」
第4回長久手町地域演劇祭
8フレンズのつどいPart.6　喜納昌吉＆チャンプルーズコンサート
開館3周年記念　フォルクローレレクチャーコンサート
7開館3周年記念　トリプルピアノ
「名演への招待」シリーズ1「タリス・スコラーズ」
劇団黒テント「メザスヒカリノサキニアルモノ若しくはパラダイス」
第1回長久手吹奏楽クリニック＆ミニコンサート
6ウインザーの陽気な女房たち
羽ばたきコンサート「新しい波・2001」
4源氏物語　朗読「葵」



●企画展
8人の眼
BIG　BRAINS　FOR　RENT
絵画コンクール（小学生／中学生の部）
市川武史作品展
ガレリア＆メルカード
長久手の里美術展
絵画コンクール（高校生/一般の部）
風景の見え方展Ⅲ
見るカブキ
創造スタッフ展「ミジカなモノそぼくなモノ」



平成11年度自主事業

長久手町奇妙な物語つくりワークショップ発表会
長久手演劇王国vol・2　B級遊劇隊「ある朝、10時ごろ」
第5回オペラレクチャーコンサート「こうもり」
3 長久手町こども劇場　劇団かかし座「ミスターシャドウPart3」
文学座「デンティスト―愛の隠れんぼ―」
第3回フレンズのつどい「五能線コンサート」
日本・ベルギー交流コンサート「オクサリス合唱団&正木裕子」
初笑い　ながくて寄席「桂米朝一門会」
2 第6回文化サロンコンサート「パーカッションコンサート」
第三エロチカ「ハムレット・クローン」
室内楽の楽しみ
1 ニューイヤーコンサート「名古屋フィルハーモニー交響楽団」
第2回事業倶楽部事業　こんにゃく座公演　オペラ「森は生きている」
第4回オペラレクチャーコンサート「ヘンゼルとグレーテル」
地域住民のためのコンサート「中田喜直の世界」
12 愛知県立芸術大学大学院オペラ試演会「コシ・ファン・トゥッテ」
第5回文化サロンコンサート「アピアス弦楽四重奏団」
演歌競演「―艶やかに華やかに―」（CBCテレビ番組収録）
11 愛知県立芸術大学管弦楽団公開練習
シンポジウム「地域文化振興とその担い手」
シンポジウムプレ事業「愛知県立芸術大学ウィンド・オーケストラ・コンサート」
町合唱団ニューセンチュリーコーラスNagakute第2回定期演奏会
愛知県親子ふれあい移動芸術劇場「能・狂言公演」
10 第4回文化サロンコンサート「馬頭琴コンサート―モンゴルの蒼い風に吹かれて―」
第1回長久手町文化の家フェスティバル
9 町劇団座★NAGAKUTE「楽しきかな憂さ晴らし」
飛ぶ劇場「シンデレラ」
シンポジウム「地域演劇事情にしひがし」
弘前劇場「あの川に遠い窓」
第2回長久手町地域演劇祭
8 第3回文化サロンコンサート沖縄の歌と舞コンサート　―珊瑚礁のさんざめきに揺られて―
開館1周年記念公演　東儀秀樹"雅"―高貴なる響きと優美なる舞―
7 開館1周年記念　室内楽コンサート―世紀のヴィルトゥオーゾが贈る音楽の贅沢―
第3回オペラレクチャーコンサート「カルメン」
第2回フレンズのつどい「ハートフルコンサート」
6 愛知県立芸術大学オーケストラ公開練習
第2回文化サロンコンサート「平家琵琶演奏会―平家物語―」
扉座「アゲイン―怪人二十面相の優しい夜」
5 第1回事業倶楽部事業「大阪府立淀川工業高等学校　吹奏楽部コンサート」
ロック講座
4 第1回文化サロンコンサート「ピアノコンサート―華麗なる春の羽ばたき―」

●企画展
絵画コンクール（小学生／中学生の部）
絵画コンクール（高校生／一般の部）
ラ・フォンテーヌ寓話のための挿絵版画「シャガール展」
創造スタッフ展「赤塚一三・木方立樹」
市川武史展
白水博子展
風景の見え方展
ガレリア&メルカード

0年度自主事業

長久手町こども劇場　デフ・パペットシアターひとみ　大冒険活劇「カガミマル」
長久手演劇王国vol・1　劇団ジャブジャブサーキット「バクスター氏の実験」
第2回オペラレクチャーコンサート「蝶々夫人」
3 第3回文化サロンコンサート「トロンボーンエンジェルス　藤沢伸行と愉快な仲間たち」
NHKラジオ「ふるさと自慢　うた自慢」収録
日本・ベルギー交流コンサート　フランダース&名古屋「愉快な仲間たちのクラリネットアンサンブル」
2 初笑い　ながくて寄席「柳家小さん一門会」
第1回フレンズのつどい「新春箏曲の調べ」
1 ニューイヤーコンサート「名古屋フィルハーモニー交響楽団」
第1回オペラレクチャーコンサート　メルヒェンオペラ「ヘンゼルとグレーテル」
平成10年度愛知県芸術祭「青少年音楽鑑賞会」
第2回文化サロンコンサート「若き演奏家のコンサート」
愛知県立芸術大学大学院オペラ試演会「フィガロの結婚」
日独共同創作演劇　らせん舘&ハノーバー演劇工房「ティル」
12 愛知県立芸術大学オーケストラ（外山雄三指揮）公開練習
結城座糸あやつり人形芝居「昭和怪盗伝（けいはくピカレスク）」
11 町合唱団ニューセンチュリーコーラスNagaKute旗揚公演

平成14年度自主事業

ファミリーコンサート
八王子車人形公演
第8回事業倶楽部事業「ウーヴェ・コミシュケ　スーパー・トランペット・リサイタル」
アートリビング講座発表会
長久手フィルハーモニー管弦楽団　第3回定期演奏会
3 町劇団座★NAGAKUTE第8回公演「ある夜の、デンエモン」
「名演への招待」シリーズ4「ザ・チェコ・トリオ」
室内楽の楽しみ
2 佐川満男とシャイな仲間たち
長久手演劇王国vol・5日本劇作家協会東海支部プロデュース「劇王」　第1回Jr.・ライト級チャンピオン決定戦
初笑い　ながくて寄席
エリック・ベルショ「ピアノエレガンス」
1 文化の家フォーラム《響き》再発見！
フレンズのつどい　Part・9「クリスマス・パーティ」
第7回事業倶楽部事業　海のサーカス「杏仁豆腐のココロ」
第4回長久手町文化の家フェスティバル
愛知県立芸術大学大学院オペラ「魔笛」
12 町合唱団ニューセンチュリーコーラスNagakute第5回定期演奏会
演歌競演「―艶やかに　華やかに―」（CBCテレビ番組収録）
三代真史ジャズ舞踊団「BLACK　BELT」
11 愛知県立芸術大学ウィンドオーケストラ第3回定期演奏会
第11回オペラレクチャー・コンサート「カヴァレリア・ルスティカーナ」
「名演への招待」シリーズ3「スペイン慕情／ザ・ハープ・コンソート」
10 町劇団座★NAGAKUTE「死神お七」
泪目銀座「これはあけぼの」
第2回長久手オペラ声楽コンクール
9 人形劇団プーク「エルマーのぼうけん」
長久手町地域演劇ファイル「京都」MONO「きゅうりの花」
8 フレンズのつどい　Part・8「シャンソンの妖精」
開館4周年記念公演　SOUL　OF　VOICE★ゴスペルin NAGAKUTE
開館4周年記念公演　中国伝統音楽の調べ
7 ながくて寄席「若手落語の会　其の弐」
第2回長久手吹奏楽クリニック&吹奏楽コンサート
6 T　factory「アーカイヴス」
羽ばたきコンサート「新しい波・2002」
5 向田邦子小劇場
4 ながくて寄席「若手落語の会　其の壱」

年度自主事業

第10回オペラレクチャー・コンサート「セヴィリアの理髪師」
第6回事業倶楽部事業　オペラシアターこんにゃく座「ロはロボットの口」
宝くじ文化公演「かぶきはともだち」
文化の家フォーラム「歌舞伎は語る」
3 町劇団座★NAGAKUTE第6回公演「カレー屋の女」
室内楽の楽しみ　第1部　弦楽四重奏　第2部　さまざまな形態によるアンサンブル
アートリビング講座発表会
2 長久手演劇王国vol・4　日本劇作家協会東海支部プロデュース「過ぎし冷や汗」「ふたりトークSHOW」
1 初笑い　ながくて寄席
フレンズのつどいPart・7「クリスマスパーティー」
第3回長久手町文化の家フェスティバル
12 愛知県立芸術大学大学院オペラ「フィガロの結婚」
演歌競演「―艶やかに　華やかに―」（CBCテレビ番組収録）
町合唱団ニューセンチュリーコーラスNagkute第4回定期演奏会
11 愛知県立芸術大学ウィンドオーケストラ第2回定期演奏会
町劇団座★NAGAKUTE「長久手町の奇妙な話」
長久手町制施行30周年記念事業「東邦ガス名フィルコンサート」
ハムレット（蜷川幸雄　演出）
10 「名演への招待」シリーズ2「プラハ弦楽四重奏団コンサート」
第1回長久手オペラ声楽コンクール受賞者記念演奏会

●企画展
ジェット気流
空中浮遊
「田中元偉展」GAZE　AT　DECAY
絵画コンクール（小学生／中学生の部）
ガレリア&メルカード
「伊藤雄治展」こころの包み紙のデザイン
絵画コンクール（高校生／一般の部）
創造スタッフ展「ミジカなモノそぼくなモノ2」

特集 Special edition

5年を振り返って　～長久手町文化の家開館５周年～

長久手町文化の家は貸館も行っていますが、館独自の企画による自主事業に大きな力を注いできました。その内容は文化・芸術（アートリビング）講座、演劇・オペラ・音楽の公演、美術展、このほかに音楽デリバリー（出前演奏会）やガレリアコンサートなど多彩です。多くの住民のみなさんの関心と直接の参加を期待し、また学習・創造・鑑賞の間を自在に行きできるよう、アートリビング講座とホール系の公演とを有機的に関連づけすることに努めてきました。講座の受講生は年度末には発表・公演することを目標とし、他方、年間40本ほどの音楽や演劇のホール系事業はその約半数に公開レッスン、ワークショップ、講座などの関連事業を併置してきました。住民による参加型への方向を目指してのことです。

長久手町劇団座★NAGAKUTE「ある夜の、デンエモン」

演　劇

開館して5年、演劇事業はさまざまな分野に取り組んできました。リアリズム、エンターテイメント性、実験性に富んだもの。歌舞伎、人形浄瑠璃なども演劇系のひとつに入れています。

地域演劇～“長久手”から発信～

長久手町が発信する演劇は、どのように地域住民に受け入れられてきたのでしょうか。

5年を振り返ってみると、開館当初に発足した長久手町劇団座★ＮＡＧＡＫＵＴＥの存在が大きいと思われます。それ以前は町内ではほとんど演劇活動が見られませんでしたが、長久手町文化の家の開館を期に、演劇を通して町を活性化させようと旗揚げした町劇団の公演も次回で10回を数え、多くの住民に感動を与えてきました。

こうして地域に根付きはじめた長久手町劇団と同様に、他県、他市町村にも地域性を持った劇団が多く存在します。「長久手町地域演劇祭」は、地域に腰をすえ演劇文化を発信する劇団を全国から集めて、見る側と創る側が、演劇の素晴らしさを共有できる企画としてこれまで5回開催してきました。公演を行った劇団はのべ20劇団（町劇団含む）になります。

このほかにも、演劇王国、戯曲セミナー、シンポジウム、ワークショップといった地域性を生かした特色ある活動も見逃せません。単に都市部からの招聘公演のみに留まらず、地域住民が参加し、交流が持てる演劇事業を視野に入れ、これまでに89事業（9月末現在、シンポジウム等含む）行ってきました。有名、無名に限らず多くの劇団、パフォーマー（演劇人）が訪れ地域に笑いと感動を残していきました。

ローカリズム（地域）の原点の素地作りとして、今後も積極的に事業展開を行い、虚構の世界へ地域住民を誘っていきます。

音　楽　～長久手オペラの魅力～

5年間で行った音楽系事業の数とジャンルは多岐にわたり、文化の家自主事業の重要な柱として役割を果たしてきました。その中でも看板事業として独自の展開をしてきたものにオペラ事業があります。

一般で知られる「オペラ」とは、大劇場で行われ、とかく敷居が高いものと思われがちですが、本場ヨーロッパにあるオペラ劇場の大半は、文化の家・森のホールのような中規模の劇場であり、各市町のシンボル的かつ身近な存在となっています。

長久手町は、文化の家建設準備段階からドイツでオペラ歌手として20年活躍した、大下久見子氏（愛知県立芸術大学音楽学部教授）をプロデューサーとして招き、さまざまなオペラ事業を行ってきました。

レクチャーつきでオペラの見どころを紹介

開館から12回行ってきた「長久手オペラ」は、原語の持つ魅力を伝えるためにレクチャーを交え、作品の見どころを凝縮して伝えることができ、公演ごとにわかりやすさと質の高さで好評を得ました。

提携事業～本格的なオペラを身近に～

町内にある愛知県立芸術大学との提携事業として、同大学が最も力を注ぐ大学院オペラ公演を文化の家で行い、オーケストラがピットに入る本格的な公演を低価格・日本語上演という形で提供してきました。

県内初の国際的な声楽コンクール

「長久手オペラ声楽コンクール」は、長久手町から全国、世界へ羽ばたくアーティストを発掘するために、愛知県初の国際的な声楽コンクールとして過去2回行いました。去る9月に行った受賞者記念演奏会では、新進声楽家による国内でも最高レベルの歌声がホールに響き渡り、このコンクールのステイタスを示しました。

これからもこうしたオペラはもちろんのこと、幅広い音楽の世界を紹介していきたいと考えています。

愛知県立芸術大学大学院オペラ「魔笛」

企画展

文化の家は平成10年度開館時の絵画コンクールを皮切りに、数々の企画展を行ってきました。地域住民を中心に、美術創造の活性化を目指す絵画コンクールは応募が年々大幅に増え、定着してきました。去る4月には「高校生／一般の部」の過去5年間の大賞受賞者による「大賞受賞者5人展」を開催し、その質の高さを証明して好評でした。

～美術作品をもっと身近に～

企画展については、ガレリア（廊下）全体に大きな透明バルーンを浮遊させ、館内に不思議な空間を作り出した「市川武史展」、瓶の中で腐敗していく作品を陳列棚に数百個並べ、美の概念を問いかけた「田中元偉展」などの新進若手作家による現代美術作品紹介のほか、「風景の見え方展」や「メキシコ現代美術展」など著名美術作家による作品展示を行ってきました。また、提携事業としては長久手町在住の美術作家たちによる大作の展示、光のホールの映像設備を生かした愛知県立芸術大学学生による映像展などを行ってきました。これからもコンクールなどの参加事業、企画展などによる鑑賞、育成のための事業をさらに充実させていきたいと考えています。

平成14年度絵画コンクール（小学生／中学生の部）
受賞・入選作品展

アートリビング講座　～レベルアップを目指して～

文化の家では、音楽、舞踊、食文化など各目的ごとに作られた諸室の機能を生かし、幅広い分野にわたってアートリビング講座を行ってきました。アートリビング講座には、半年から１年にわたる長期講座と、舞台公演に関連して行うワークショップ等の短期講座があり、平成14年度には長・短期合わせて44講座を開講しました。長期講座は年度末に「アートリビング講座発表会」を行うのが特徴で、受講生はこの発表会を目標に積極的に講座に参加しています。昨年度の発表会では、それぞれの発表だけでなく、バイオリン受講生がクラシックバレエのオープニングで演奏するなど、講座の枠を超えた発表も行われるようになってきました。

開館当初は、芸術文化に触れるきっかけづくりを目的にした初心者向けの講座が中心でしたが、平成13年度からはさらなるレベルアップを目指した中級者向けの講座も開講するようになりました。

アートリビング講座発表会「戯曲セミナー優秀短編上演会」

●自主事業

		平成10年	11年	12年	13年	14年
ホール系	音楽系公演	17	20	17	15	19
	舞台芸術系公演	13(内オペラ3)	14(4)	18(4)	17(3)	16(3)
	その他	1	5	3	3	2
	小計	31	39	38	35	37
展示室系	美術展	2	5	7	9	7
	その他		1		3	4
	小計	2	6	7	12	11
映像鑑賞会		22	29	24	15	13
ガレリアコンサート					2	4
音楽デリバリー					8	8
アートリビング講座（延べ）		27	30	38	35	44

施設利用

開館から14年度までに、予想を上回る約247万人が文化の家を訪れました。入館者数は、年ごとに増加しており、14年度の月平均の入館者数は、約52,000人で、開館初年度の月平均32,000人から見ても右肩上がりに増加していることがわかります。また、入館者は公演等の入場者だけでなく、各施設の利用者や、ラウンジなどオープンスペースの利用者の増加も含まれます。

文化芸術活動の拠点として浸透

年度別利用率は14年度において森のホール、風のホールで平均59%、その他アートリビング諸室で平均76%となっており、特に、舞踊室、音楽室、音楽スタジオなどの実習諸室は、ほぼ100%の高い利用率となっています。このことは、文化の家が文化芸術活動の交流拠点として年ごとに地域に浸透してきた現れといえましょう。

●入館者数合計の推移

	10年度	11年度	12年度	13年度	14年度	総合計
入館者数	274,140	421,061	531,493	618,977	622,835	2,468,506
入館者数月平均	32,252	35,088	44,291	51,581	51,903	43,690

●諸室の利用状況

	森のホール	風のホール	光のホール	展示室	舞踊室	音楽室	音楽スタジオ
10年度	74.2	59.9	32.1	55.3	90.7	90.7	98.6
11年度	69.8	68.6	31.9	76.0	94.1	95.7	96.4
12年度	72.7	78.8	43.5	78.4	94.0	95.3	94.7
13年度	60.8	59.5	56.3	85.7	98.0	98.6	97.3
14年度	53.7	63.9	44.9	83.0	97.0	97.7	99.0
	美術室	食文化室	生活工房	暗室	講義室	会議室	和室
10年度	57.7	38.1	24.2	3.7	47.3	30.4	32.6
11年度	67.8	53.6	26.6	15.8	63.3	52.1	25.5
12年度	71.8	54.8	25.6	27.2	79.9	77.0	33.4
13年度	86.7	69.6	43.3	39.2	90.7	93.4	45.4
14年度	84.3	70.5	46.6	48.9	88.2	89.7	47.4

単位:%

TOPICS

文化の家開館5周年記念 民族音楽シリーズ
「カリンバ・コンサート～癒しのアフリカ～」

平成15年7月13日（日）に、風のホールにおいてカリンバ・コンサートを行いました。民族楽器のマルチプレーヤーとして世界各地で活動しているロビン・ロイド氏とエレクトリック・ベースを独学で始め、アフリカをルーツとするブルースやサンバ等に影響を受けたという山田晴三氏が出演しました。

コンサートは、尺八、パーカッション、ベースに三味線など、カリンバに「和の音」を融合させたもので、カリンバの透明感あふれる音色が響きわたると会場内が癒しの空間へと様変わりしました。（今回出演していただいたお2人にカリンバの良さを聞いてみたところ、「音階などを自分で決めることができ、おもいのままに演奏できる点に良さがあります。（ロビン・ロイド氏）」「音色が良いのと、弾いていると自分に音が飛んできて、カリンバの世界に入り込むことができるのが心地良いです。（山田晴三氏）」と話されました。）

関連企画「カリンバを弾こう!」では、ロビン・ロイド氏を講師として各地で集めたカリンバの紹介や、カリンバを実際に弾くワークショップを行いました。

「カリンバ」ってどんな楽器？

カリンバは日本では親指ピアノと呼ばれ、木でできた共鳴胴に金属の板（キイと呼ぶ）をバネのように並べ、それを指ではじいて演奏する楽器です。

ワークショップの様子

文化の家開館5周年記念 絵画コンクール（高校生／一般の部）
大賞受賞者５人展

4月26日（土）から5月4日（日）まで展示室において、大賞受賞者5人展を行いました。平成10年度から行ってきた文化の家絵画コンクール（高校生／一般の部）が昨年5回目を迎え、応募者・鑑賞者に絵画コンクールへの理解を深めていただくため、過去5回の大賞受賞者の受賞作品などを展示しました。

大賞受賞者の持つ世界を紹介

これまでの大賞受賞者5人が勢ぞろいしたため、「作品の質も高く、それぞれの大賞者の作風や個性などがよくわかる、受賞者のその後がわかるのでとても良い」など、来場者から高い評価を受けることができました。

また、大賞受賞者の作品へのこだわりや、描くにあたって思っていることなどを、作品横に掲示しました。何をモチーフに作品が描かれているか、どんなことを想いながら作品を描いているのかは、なかなか鑑賞者にとっては難しいものです。それが、コメントにより、作品の良さや深さがわかりやすく鑑賞者に伝わったことでしょう。

質の高い作品が出揃った大賞受賞者5人展

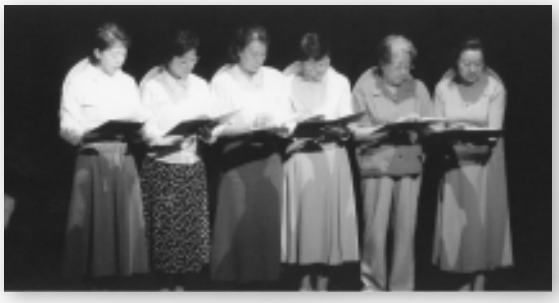
文化の家開館５周年記念　チラシ・ポスター展

7月5日（土）から13日（日）まで展示室において、文化の家開館5周年記念チラシ・ポスター展を行いました。開館からの5年間の集大成をチラシやポスターなどで振り返るというもので、フレンズのつどい、事業倶楽部事業、オペラ声楽コンクールなど、事業の特徴ごとにコーナーを分けて展示しました。自主事業の公演や企画展などのチラシデザインは、開館当初から、文化の家の職員などが行っています。

また、関連企画として、7月１１日（金）愛知県立大学芸術大学デザイン専攻助教授水津功氏と同大学同専攻講師佐藤直樹氏を講師に迎え、近隣文化施設職員を対象に事業チラシ作成講習会を行いました。

事業倶楽部事業
朗読劇　この子たちの夏

1945・ヒロシマ ナガサキ



7月31日（木）森のホールにおいて、長久手事業倶楽部主催の地人会公演「朗読劇　この子たちの夏　1945・ヒロシマ　ナガサキ」が行われました。

地人会の「この子たちの夏」は今年で19年目を終え、全国357市区町村656回の上演をしてきました。この朗読劇は山田昌氏など6人の女優たちと各地一般からの有志参加者5人が、原子爆弾で被爆した子どもたちや母親の手記・短歌などを朗読したものでした。

公演後には出演者と観客が参加する交流会も開かれ、朗読劇の感想など、熱く語る場になりました。

被爆者による証言が寄せられた関連企画

関連企画として、展示室では原爆直後の広島や長崎で撮影された写真や絵などが展示されました。ひとつひとつの絵や写真には被爆者による証言や当時の状況が文章としてそえられていました。また、イラク戦争に対する子どもたちの絵やメッセージが寄せられているコーナーもあり、子どもたちの素直な気持ちが壁一面に貼られていました。

森のホール公演終了後には多くの観客が足を運び、展示パネル一つ一つを真剣な表情で読んでいる姿が見られました。

一般からの有志参加者

リスト音楽院教授陣による マスターコンサート

7月27日（日）森のホールにおいて、ファルヴァイ・シャーンドル氏（ピアノ）をはじめヴァイオリン、チェロのリスト音楽院教授3名で、バルトークの「6つのルーマニア民族舞曲」など数々の名曲を披露しました。

世界史において苦難の歴史をたどったハンガリーですが、伝統のあるヨーロッパの1国としての誇りと高い文化を保ち続けた「気質」を垣間見た演奏でした。来場者には平土間形式のホールで演奏者を間近に感じ大変好評でした。また関連企画としてハンガリーの食を体験するアートリビング講座「ハンガリー料理」、民芸品の刺繍、文化遺産のある町並みを紹介した展示会「ハンガリー紀行」、そしてハンガリーワインの即売など、コンサートを中心に「五感」で感じる企画を行いました。

フレンズのつどい第10回特別記念公演

森山良子アコースティックコンサート

8月3日（日）森のホールにおいて、文化の家フレンズの第10回公演を記念して、森山良子アコースティックコンサートが行われました。

1曲目から森山良子さんといえば誰もが思い浮かべる「この広い野原いっぱい」を歌い、「さとうきび畑」では透き通るような優しい声に癒され、盛大な拍手がおこりました。

森山さんが自分の音楽人生の出発点であるというアメリカン・フォークのメドレーでは、「500マイル」や「花はどこへいった」など、懐かしいメロディに会場も一体となって盛り上がりました。

多様な楽器と見事な演出のコンサート

今回の演奏では、森山さん自身、アコースティックギター、シェイカー、タンバリン、三線などを使いこなし、さらに「Mr.Bojangles」では黒い帽子を使った演技など、歌だけではなくさまざまな見せ場がありました。特に、「誰にも言えないけど」は、森山さん自身が三線を使って作曲をした歌で、沖縄を感じさせるその旋律と弾き語りは聴き応えのあるものでした。

最後に歌った「エターナリー」では森山さんがオルゴールを手で回し、その旋律に合わせて歌っていくという手法をとり、観客を驚かせました。

公演 Pick Up

歌舞伎フォーラム公演

かぶきはともだち「あんまと泥棒」
～歌舞伎をもっと身近に、
歌舞伎をもっとみんなのものに～

【と　き】11月14日（金）午後3時開演
【ところ】森のホール
【料　金】前売 一般3,000円　学生2,000円
当日 一般3,500円　学生2,500円
フレンズ会員　2,500円
全自由席

チケット発売中

第1部…歌舞伎に親しむ「歌舞伎の美」
舞台上に楽屋を再現し、第二部の主人公・助六ができるまでを衣装、かつらをつけるところをまじえてご覧いただきます。
第2部…歌舞伎名作舞踊「助六」
歌舞伎十八番の中でも有名かつ人気のある「助六」を舞踊にしたものです。
第3部…歌舞伎「あんまと泥棒」
泥棒の権太郎は強盗に入ったつもりが、ずるがしこいあんまの口にだまされ、逆に金を恵んでいく人の良さ。焼酎を出して身の上話をするうちに、あんまが泥棒に説教を始めるあたりの二人のやりとりが傑作です。

愛知県親子ふれあい芸術劇場　邦楽・邦舞公演

【と　き】11月15日（土）午後1時開演
【ところ】森のホール
【料　金】無料（要整理券）

第1部…名古屋三曲連盟による邦楽演奏
箏や尺八、三絃（三味線）によって演奏される伝統的な調べのほか、「大きな古時計」など馴染みの曲も演奏します。
第2部…財団法人西川会による邦舞
日本舞踊の分かりやすい解説と衣装、かつら、化粧などの実演後、長唄「鷺娘」を踊ります。普段見ることのできない舞台裏も見ることができます。

第4回 長久手町文化の家フェスティバル 舞台部門

第5回 長久手町文化の家フェスティバル

文化の家フェスティバルは、文化の家利用者の祭典です。個人では難しい舞台での公演発表や、作品の展示を行います。舞台や展示室などで日ごろの活動の成果を発表し、参加者や地域住民との交流を深めます。

【と　き】
・舞台部門
12月13日（土）午後2時開演
12月14日（日）午後1時30分開演
ダンス、バレエ、室内楽、合唱など
・展示部門
12月9日（火）～14日（日）
午前10時～午後7時（最終日は午後5時まで）
絵画・タピスリー・染織・絵手紙・陶器など
・パフォーマンス部門
12月14日（日）
①草木染め･藍染め体験教室　午前10時～／午後2時～
②タピスリー織り体験教室　午前10時～／午後1時～
【ところ】
森のホール、風のホール、展示室、美術室ほか
【料　金】
無料（パフォーマンス部門のみ参加料要）
【主　催】
長久手町　長久手町文化の家フェスティバル実行委員会

ガレリアコンサート

ガレリアコンサートは、文化の家のオープンスペースであるガレリアで行う“身近で気軽に楽しんでいただける”ミニコンサートです。今回は町合唱団ニューセンチュリーコーラスNagakuteがガレリアいっぱいに混声の美しい歌声を響かせます。ご期待ください。

【出　　演】ニューセンチュリーコーラスNagakute
【と こ ろ】ガレリア
【料　　金】無料
【開催日時】11月15日（土）　正午から30分程度
【曲　　目】アルカデルト「アヴェ マリア」
パレストリーナ「キリエ」
ヴィクトリア「アヴェ マリア」ほか

●自主事業の一覧（11月～12月）●

と　き	ところ	公演名
11月7日（金）～16日（日）	展示室	絵画コンクール（高校生／一般の部）受賞・入選作品展
11月14日（金）	風のホール	かぶきはともだち「あんまと泥棒」
11月15日（土）	森のホール	愛知県親子ふれあい芸術劇場　邦楽・邦舞公演
11月15日（土）	ガレリア	ガレリアコンサート（出演：町合唱団ニューセンチュリーコーラスNagakute）
11月15日（土）	光のホール	映像鑑賞会「顔役」
11月28日（金）	森のホール	演歌競演－艶やかに　華やかに－
12月6日（土）	森のホール	2003年度　愛知県立芸術大学大学院オペラ公演　コシ・ファン・トゥッテ
12月7日（日）	森のホール	2003年度　愛知県立芸術大学大学院オペラ公演　コシ・ファン・トゥッテ
12月9日（火）～14日（日）	ホール・展示室　ほか	第5回長久手町文化の家フェスティバル（展示・舞台・パフォーマンス）
12月13日（土）	ガレリア	ガレリアコンサート（出演：ピッコロ・マンドリーノ）
12月20日（土）	光のホール	映像鑑賞会「リロ　アンド　スティッチ」
12月21日（日）	舞踊室	シャンソン de クリスマス

文化の家を一度使ってみませんか？

予　約

芸術文化活動の場合、森のホールと風のホールは12か月前の第1水曜日、アートリビングは6か月前の第2水曜日に施設利用抽選会を行っています。

抽選日翌日からは電話で仮予約ができます。仮予約後一週間以内に事務室で申請手続きをしてください。

申請手続き

事務室で利用申請を行い、施設使用料をお支払いください。後日、利用許可書を郵送します。

利用日当日

事務室で利用許可書を提示してからご利用ください。

利用後は内線電話で事務室（１１１）までご連絡ください。係員が点検に伺いますので、確認の立ち会いの後、退室してください。

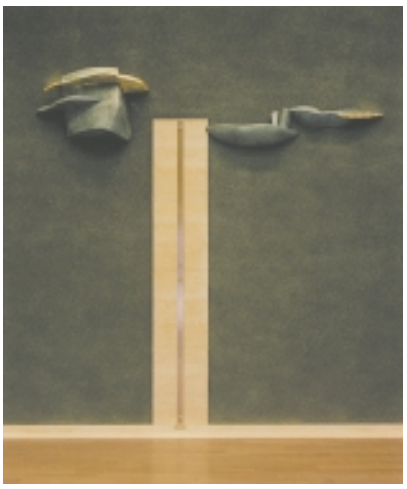
編集後記

文化の家には建物を囲むようにしてケヤキやカツラ、クスなど高木だけでも十数種類500本近くが植えられている。会館当初の、枝を切り詰められた木々も今はかなり自然に戻って緑陰を結ぶようになった。文化の家の2つのホールは「森のホール」「風のホール」と名付けられたが、当初にイメージされた爽やかな風わたる文化の森の姿が見え始めている。

木々と森の成長ぶりは緑樹の高さや枝の広がりから確かめることができる。これに対して人々の感性の深まりや地域文化の高まりについては数量的に計ることは殆どできない。文化の家の5年間は、アートリビングの講座生のレベルアップや専属の劇団、合唱団の盛んな活動、あるいは来館者が月平均で5万人を超えるようになった等々、目に見える成果を断片的にピックアップすることはできなくはない。けれども主観に偏しない総括としては本号で掲げるような活動実績をそのまま提示することが最善であるように思う。

年間約40本のホール系の事業と40数種の講座、これらを中心としたこれまでの意欲的な活動は他と比して遜色がないものと信じるが、植えられた木々にたとえれば、根がようやく活着した時期ともいえる。住民のみなさんの一層の理解と文化の家を支援する組織フレンズの献身的な支え、そして職員スタッフの変わらざる懸命な働きを得て、次の5年後のより自然な深い文化の森を期したいと思う。

文化の家 館長　川上　實



文　化　の　家　美　術　作　品

題名　「風・物語り」 a wind, the, fable

作者　山本鐘互 YAMAMOTO Shogo
1946年埼玉県生まれ
東京芸術大学美術学部工芸科卒業

寸法　280（幅）×24（奥）×60（高さ）cm

展示場所　文化の家　風のホール　ホワイエ

コメント　大地は人間の営みをすべて受け入れ、それを見守っている。人は“記憶”ということで歴史をふり返り、“物語”を作り出し、人に伝え、未来を信じて生きる。大地は風を起こし、人は風に吹かれて、夢をかたり続ける…

文化の家

長久手町文化の家　情報誌

発行／長久手町
編集／長久手町文化の家

お問合せ

長久手町文化の家

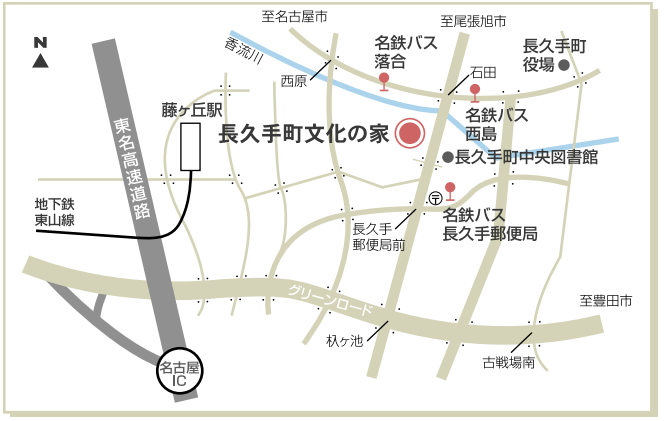
〒480-1131
愛知県愛知郡長久手町大字長湫字野田農94番地1
tel.0561-61-3411　fax.0561-61-2510
チケット専用／tel.0561-61-2888
http://www.bunka.nagakute.aichi.jp

■事業、舞台技術に関すること・・・事業係
■施設利用、フレンズ、情報誌に関すること・・・管理係

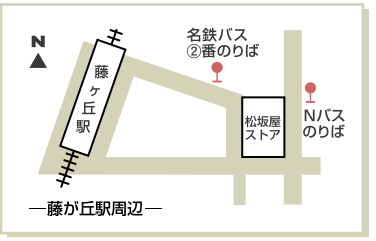
休館日 = 月曜日（祝祭日の場合は翌日）及び年末年始
開館時間 = 午前9時～午後10時

交通アクセス

- 地下鉄東山線藤ヶ丘駅から車で5分
- 地下鉄東山線藤ヶ丘駅下車、名鉄バス2番乗り場、長久手郵便局前下車、徒歩8分
- 地下鉄東山線藤ヶ丘駅下車、N-バス［Fルート］文化の家下車すぐ
- 名鉄バスセンターから名鉄バス、長久手車庫行き、西島下車徒歩5分
- 東名高速道路名古屋インターから車で10分



藤ヶ丘発　N-バス［Fルート］時刻表
10:30　12:23　14:00　15:03　16:20　17:37



愛・地球博
Exposition of Global Harmony
PRINTED WITH SOY INK
R100
古紙配合率100%再生紙を使用しています